

## 学力アップは漢字学習から 漢字力がすべての学科の基礎

漢字力は、「文章を読む」「文章を読み取る」ための基礎能力となるもので、すべての教科に直接的にかかわる意味でも非常に重要です。

ことわるまでもなく、国語はもとより、算数、理科、社会などの授業も、「教科書を読む」ことから始まります。教科書が読めないということは、内容を理解するための第一歩でつまづいてしまうことにほかなりません。これでは、授業についていけなくなるのは火を見るより明らかです。

ところで、昨今、学校の先生たちが、「教科書の読めない児童が多くて困る」と悩んでいるとあって大きな問題になっています。算数にしても、計算はスラスラできたとしても、問題文に基づき計算式を立てて解くといった問題になると、文章が読み取れないために、計算の前に数式が立てられないケースが増えているというのです。

日本の子供の学力が全般的に低下していると指摘されていますが、これも、「教科書が読めない」児童が増えていることと無関係でないは

ずです。

こうした由々しき事態を招いている最大の原因として考えられるのがずばり、漢字力の弱さです。漢字が読めないことにより、文章を読み取る力が培われないことになるのです。ですから、すべての教科にわたって学力を上げるには、何といたっても漢字に強くなることであり、読解力をつけることが基礎になります。

授業の内容についていければ、おのずと好奇心や探求心もふくらみ、勉強が楽しくなるものです。学校生活を充実させるためにも、子供たちに漢字に強くなってほしいと思います。そのためにも、漢字力をつける絶好のチャンスである、幼児～小学校低学年での漢字教育をないがしろにするわけにはいかないのです。